

平成 30 年第 4 回大野城市議会 12 月定例会一般質問通告

○本会議（3 日目）一般質問

平成 30 年 12 月 13 日（木） 午前 9 時 30 分（於 議 場）

議員氏名	件 名
森 和也	<p>1. 若者に対する支援施策について</p> <p>(1) 平成 30 年第 2 回定例会において、企画政策部長が、「出生率を高め ていくための子育て支援の充実に関する施策を実施しております。」と 述べられているが、具体的に、どのような施策を講じているのか。本 市の少子化対策について教えていただきたい</p> <p>(2) 若者の未婚・晩婚化は、なぜ進んでいるのか。どのように考えてい るか</p> <p>(3) 出会いサポートセンターを設置している自治体があるが、承知して いるか</p> <p>(4) 本市も「おおのじょう出会いサポートセンター」を設置していただ きたいと考えているが、いかがか</p> <p>(5) 本市では、若者の住宅購入に対し、何か支援を行っているか</p> <p>(6) 宗像市では、「子育て世帯及び新婚世帯家賃補助制度」、「中古住宅購 入補助制度」、「古家購入建替え補助制度」、「三世帯同居・近居住宅支 援補助制度」、「定住奨励金」の各施策を行っている。本市でも検討し ていただきたいが、いかがか</p> <p>2. 産業廃棄物の廃棄基準とごみ袋について</p> <p>(1) 一般的に、産業廃棄物の処理は、どうやっているのか</p> <p>(2) 福岡都市圏南部工場廃棄物（ごみ）受入基準が、平成 30 年 5 月に出 されているが、どのような経緯で作成されたか</p> <p>(3) この受入基準については、パブリックコメントを求めたか。どのよ うなコメントが出されたか</p> <p>(4) クリーン・エネ・パーク南部では、産業廃棄物は受け入れているか</p> <p>(5) 以前は、南部工場でも中小企業基本法に規定する中小企業者が排出 した産業廃棄物は受入れていたと聞いているが、なぜ受入れなくなっ たのか。福岡市の処理施設では受入れているのに、どうして南部工場 では受入れなくなったのか</p> <p>(6) 産業廃棄物の不法投棄は、年間どれくらいあるか。最近の不法投棄 回収のデータがあれば、教えていただきたい</p> <p>(7) クリーン・エネ・パーク南部における、中小企業基本法に規定する 中小企業者が排出した産業廃棄物の受入れは、検討できないか</p> <p>(8) 大野城市指定の家庭専用ごみ袋は、縦に裂けやすいという声がある が、以前と品質が異なるか。製造業者が変わっていないか</p> <p>(9) ごみ袋は、硬めのパリパリしたものと柔らかいものがあり、例えば もえるごみ袋と資源ごみ袋には違いがある。原料樹脂はどちらもポリ エチレンと表示されているが、なぜ違いがあるのか</p> <p>(10) 広報大野城 2018 年 1 月 1 日号に「市指定ごみ袋の不良について」と いう記事が出されているが、この記事を掲載することになった経緯を 教えてもらいたい</p> <p>(11) 市指定ごみ袋に対する苦情等は、最近出されているか</p>

	<p>3. 体育館の暑さ対策について</p> <p>(1) 本市内の体育館に、冷暖房設備は設置されているか</p> <p>(2) 体育館は避難所として使われる可能性があるが、居住環境改善の観点からどのように考えるか</p> <p>(3) 特殊遮熱断熱塗料というものがあるが、承知しているか</p> <p>(4) 予算の関係からエアコンの設置などは難しいだろうが、特殊遮熱断熱塗料について検討していただきたい。いかがか</p>
河村 康之	<p>1. 高齢化社会を見据えての認知症対策について</p> <p>(1) 認知症高齢者の現状について</p> <p>(2) 認知症の疑いのある高齢者への認知症検査について</p> <p>(3) 認知症高齢者のグループホーム入所にかかる、利用者負担費の軽減について</p>
松下 真一	<p>1. 引きこもり問題と対策について</p> <p>(1) 引きこもりの広義の定義について</p> <p>(2) 引きこもりの実態調査について</p> <p>(3) 内閣府の「子供・若者白書」を基にした、本市の子ども・若者育成支援施策について</p> <p>(4) 地域福祉と出番のあるまちづくりについて</p>
平井 信太郎	<p>1. 本市に貢献された方々への対応について</p> <p>(1) 杉内俊哉氏、本多雄一氏の本市への貢献について</p> <p>(2) 本市に貢献された方々への表彰について</p> <p>(3) 杉内氏、本多氏へのこれからの対応について</p> <p>2. 西鉄路線バスの現状運行について</p> <p>(1) 南地区からの JR 大野城駅西口への運行について</p> <p>(2) 南地区からのイオン大野城への運行について</p>
松崎 百合子	<p>1. 災害における乳幼児、妊産婦、母子、女性への支援、および男女共同参画について</p> <p>(1) 本市の地域防災計画や実施マニュアルについて</p> <p>(2) 平成 30 年 7 月豪雨災害について</p> <p>(3) 災害と男女共同参画について</p> <p>(4) 災害時の母子と女性の支援について</p> <p>2. 通学カバンの重さと子どもの健康について</p> <p>(1) 本市の児童生徒の通学時カバンの重さについてどのように把握されているか</p> <p>(2) カバンの重さが子どもの健康に及ぼす影響について市はどのように考えるか</p> <p>(3) 本年 9 月 6 日付文部科学省からの「児童生徒の携行品に係る配慮について」通知について、本市はどのような対応をしたか</p> <p>(4) 学校において、通学カバンの重さ軽減について、どのような対策をされたか</p>

○本会議（4日目）一般質問

平成30年12月14日（金） 午前9時30分（於 議 場）

議員氏名	件 名
井上 正則	1. 認知症地域支援体制づくりについて (1) 認知症の方に対し優しい地域づくりの支援について
井福 大昌	1. 心のふるさと館の有効利用を (1) 本年7月21日に開館した大野城心のふるさと館ですが、開館5ヶ月が経とうとしています。 1日の平均利用者数と、当初の見込みとの差などありましたら教えてください (2) 2階貸会議室の利用状況を教えてください (3) 1階昭和の暮らし展示コーナーの利用状況を教えてください (4) 上記2問で挙げたように、大野城市には元気で子どもたちが大好きな高齢者がたくさんいます。 また、現在、全国的に、現役を引退したシニア世代の生きがい就労を目的として高齢者が保育補助を行う民間資格の「グラウンドシッター」などの様々な仕事が注目されています。 これは待機児童問題と高齢者雇用や生きがい就労に役立つと言われ、一石二鳥の制度ですが、心のふるさと館、そして、それ以外の事業でも何か連携はできませんか (5) 筑前町ではまちおこし協力隊の制度を活用し、町の風景を町民たちが撮影した写真展「町民フォトコンテスト」をおこない、クリアファイルや町のポスターに利用しています。 また、まちの風景写真をとるバスツアーなども企画されています。 本市で市民によるふるさと館を利用した大野城の風景の写真展「市民フォトコンテスト」などを開催するお考えはありますか (6) ふるさと館のコンセプトは「歴史と、まちと、人と、想いとつなぐ、つながるミュージアム」ですが、これはもちろん、歴史だけでなく、これからのふるさと大野城を市民とつないでいく意味も込められていると思います。 市民と都市の接点となる公共施設をその都市のコミュニケーションポイントと言います。 そしてコミュニケーションポイントは在住都市に対する市民の誇りを醸成するとのこと (7) ふるさと館に2回、3回と何度も市民に来ていただくための今後の方策や企画などありましたらおきかせください
大塚 みどり	1. 避難所のエアコン設置について (1) 記録的な猛暑となった今年の夏、全小中学校に示した熱中症対策の取り組みについて (2) 国をあげてエアコン設置を推進しているが、本市の熱中症対策の取り組みについて (3) 「緊急防災・減災事業債」（総務省）の活用について 2. 災害時用備蓄品について (1) 災害時用備蓄食品の有効活用及び乳児用液体ミルクの補充について

<p>山上 高昭</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 農業政策について <ol style="list-style-type: none"> (1) 大野城市内で今後区画整理を行う計画があるか。また、区画整理を検討する可能性があるか (2) 農業施策について (3) 農業の状況について (4) 農業の今後の見込みについて (5) 大野城市における農業の課題について (6) 今後の計画について (7) 農業政策の今後について 2. 市有林の活用について <ol style="list-style-type: none"> (1) 市有林を活用する事業について (2) 各種事業との関連について (3) 災害対策について (4) 今後の計画について 3. 歩道上のベンチ設置について <ol style="list-style-type: none"> (1) 南地区のベンチ設置事業の概要について (2) ベンチ設置の評価について (3) 今後の計画について (4) 歩道上へのベンチ設置を推進すべきではないか
<p>清水 純子</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自然環境を破壊するプラスチック等のごみ削減について <ol style="list-style-type: none"> (1) 循環型社会形成推進基本法では、廃棄物の3Rリデュース（発生抑制）・リユース（再使用）・リサイクル（再生利用）と優先順位が示されている。本市でのそれぞれの取り組みについて特記するものまた、課題があれば示してほしい (2) 大量生産・大量消費・大量廃棄から大量リサイクルの結果が今、海洋プラスチックごみ問題として地球規模でクローズアップされている。そこで、容器包装リサイクル法に関する本市の課題について伺う (3) 最大の廃プラスチックの輸入国であった中国が輸入を禁止。そこで、本市が回収した事業系のペットボトル及び、プラスチック等についての実態は把握されているのか (4) 焼却からリデュースへ政策転換を、レジ袋の有料化として環境大臣の宣言もある。今後の政策を示してほしい (5) 持続可能な開発目標（SDGs）を踏まえ、国の第4次環境基本計画によると、焼却からリデュース・リユースへの転換を最優先課題としている。2025年までに目標達成するために、検討されていることがあれば示してほしい